（科目コード ： 7000920145KK）
【改訂】第15版（2017-02-09）
【科目】中国語Ⅱ
【科目分類】 一般科目 **【選択・必修の別】** 特別設定科 **【学期・単位数】**後期・2単位
【対象学科・専攻】 物質 5年
【担当教員】 桑名 潔江

【授業目標】
□中国語の基礎知識（発音、文法）を習得することができる。
□初級程度の会話力を身につけることができる。
□教科書の表現や構文を使って、応用的な中国語のコミュニケーションができる。
□中国語の単語の発音、応用会話等を、教科書本文の朗読CDを聞きながら自らも発音できるようにする。

【教育方針・授業概要】
本科目は学修単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。
本授業は学生個々人の学習活動に重点を置く。
・発音、基本文法についてテキスト中心に解説。
・会話の基本表現を学ぶ。
・グループ分けて、学生同士の間で中国語の応用会話の練習。
・テキストに関連した中国の生活・習慣・文化について解説。

【教科書・教材・参考書 等】
教科書：しゃべっていいとも中国語トータル版：陳 淑梅、劉 光赤 ：朝日出版社：978-4-255-45238-8 c1087

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】
講義形式であるが、学生に発音・会話練習をさせる。CDプレーヤーを使って、ヒアリングの練習させる。

【メッセージ】
教科書やCDを活かして、予習・復習をしっかりして、授業を積極的に参加してもらって、基本的な中国語の会話能力を養って行こう。

【事前に行う準備学習】
授業毎に、次回の授業までに準備しておくべきことを具体的に指示するので、予習してきてください。

【成績評価方法】
[後期]中間試験：40%,期末試験：40%,レポート：20%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	中国語の発音	30 %	中間、期末試験、課題
2	中国語の基本文法	30 %	中間、期末試験、課題
3	中国語の応用会話	40 %	中間、期末試験、課題

【本校の学習・教育目標】
◎(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。
◎(E) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身に付ける

【授業計画】（中国語Ⅱ）

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	文法と会話応用	時刻の言い方、動詞、形容詞、名詞述語文、関連会話練習		
第2回	文法と会話応用	時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞、関連会話練習		
第3回	前置詞、助動詞と会話応用	動作の対象を表す前置詞、助動詞、許可を求める言い方、関連会話練習		
第4回	動作進行、可能態、初級会話	動作行為の進行を表す表現、可能を表す助動詞、関連会話練習		
第5回	二重目的語、初級会話	二重目的語をとる動詞、小短文の読む練習、関連会話練習		
第6回	経験態、選択文、初級会話	経験を表す助詞、選択疑問文、関連会話練習		
第7回	必要態、条件文、初級会話	必要を表す助動詞、条件を表す構文、関連会話練習		
第8回	結果補語、会話応用	結果補語、関連会話練習		
第9回	様態補語、会話応用	様態補語、関連会話練習		
第10回	比較表現、会話応用	比較表現の前置詞、関連会話練習		
第11回	方向補語、会話応用	方向補語、副詞、数量詞、関連会話練習		
第12回	方向、程度、会話応用	複合方向補語、程度補語、関連会話練習		
第13回	可能補語、会話応用	可能補語、関連会話練習		
第14回	主述述語、受け身表現、会話応用	主述述語、受け身表現、関連会話練習		
第15回	使役表現、会話応用	使役表現、関連会話練習		